

瑞宝小綬章 教育功労

昭和35年から小学校教諭、高等学校教諭、教頭、校長として36年間、学校教育の充実に多大な功績をあげられました。また、野市町中央公民館長、野市町教育長として町教育行政の推進に尽力されました。



山中國保さん

71歳 野市町

初めて教壇に立ったのは、小学校(現在の仁淀川町)。25年振りの同窓会では、教え子が大事に持って来てくれた文集に感無量で、『健康・努力・和』という言葉は今も変わらない信条だ。山中さん。教師としてだけでなく、あらゆる角度から教育に関わり、現在も県子ども会連合会長、県関係理事などを務める多忙な毎日です。山中さんを明るく支え、この受章を一番喜んでくれたであろう亡き妻とたくさんのお会いに感謝し、これからは少しでも恩返しをしていきたいと話していました。

野市町長を退任するまでは、駆け抜けたような時代。上司や部下、人に恵まれ、どこで仕事をしても楽しかったけれど、家庭は妻任せだったと反省の言葉も。県福祉生活部長時代からたくさん課題に、福祉は心でやるしかない」と取り組んだもの、「ご恩返しにはまだまだ」と、現在は香南市シルバーク材センター理事長や土佐あけぼの会理事長など地域福祉の一端を担われています。そんな中、奥さまとの穏やかな時間を何よりも大事にしたいという山中さんでした。

瑞宝小綬章 地方自治功労

昭和25年、高知県に奉職。以来38年にわたり議事事務局次長、企画部開発調整局長、福祉生活部長などの要職を歴任し、地方自治の発展に貢献されました。また、その経験を生かし野市町長として町行政の発展に尽力されました。



山本清二郎さん

75歳 野市町

春の叙勲 香南市で5人が受章されました



旭日双光章 地方教育行政功労

昭和42年、香我美町教育委員任命以来38年5カ月間在職し、町内の完全給食実現や香我美小学校の統合、幼稚園の建設など町政発展に貢献してきました。また、保護司や香宗川左岸土地改良区監事としても尽力されました。

百田 弘さん

78歳 香我美町

「香我美小学校の統合や保育、幼稚の一元化は、その時代のニーズ。たくさん箱モノを建てたが、子育て支援など子どもと保護者のことを考えた暮らしやすい地域教育に取り組んだ」と当時を振り返ります。「この受章は皆さんのご理解と協力のたまもの。深く感謝と御礼を申し上げます」と百田さん。今も、ハウスミカンをつくる傍ら、お世話になった地域への恩返しになればと、香我美町老人会の会長や若一王子宮総代会長など、地域のリーダーとして活躍しています。

昭和20年に青果卸売りを営んでいたお父さんが亡くなったため、内定していた教師の職を断念。その跡を継いで以来60年余り、父の意志でもあった、農家の人たちの苦勞に報いたいとの一心で仕事をしてきたそうです。「愛と真心と感謝」がモットー、この仕事为天職だと言われます。女性社長としても29年、現役で活躍される元気の秘けつは仕事。「天職と思えば何のつらいこともありません。何でも楽しくできることがお薬です」と、にこやかに話していました。

旭日双光章 農産物流通功労

昭和20年、赤岡青果市場に入社。以来、生産者の抱えるさまざまな課題に応え、その取り組みに尽力されました。昭和53年に社長に就任し、現在に至るまで市場の成長に多大な貢献をされました。

水田幸子さん

79歳 赤岡町



昭和47年に土佐山田町繁藤で発生し、60人が犠牲となった山崩れ災害で、線香を持って現場の捜索をしたという有安さんは、「土砂に埋もれた遺体を捜すのは、とてもつらかった」と当時を振り返っていました。それからというものの災害の現場では、細心の注意を払い、懸命に消防活動に務めてきました。「人生の大半を消防団で過ごし、妻には大変な苦勞をかけた。これからは、好きな酒もほどほどに、妻と共にゆっくりと過ごしていきたい」と話していました。

瑞宝単光章 消防功労

昭和34年に夜須消防団に入団以来、45年余りの長きにわたり地域住民のため災害活動に務め、副団長を6年間務めました。

また、昭和46年から高知県交通安全指導員として任命され33年間、地域住民の交通安全に貢献されました。

有安嗣文さん

66歳 夜須町



目指そう！交通事故ゼロのまち

春の交通安全運動

「子どもと高齢者を交通事故から守ろう」を合言葉に、5月11日から20日にかけて、「春の全国交通安全運動」が実施されました。パトカーによる啓発パレードを皮切りに、早朝の街頭指導やパネル掲示・広報車で市内巡回。各学校では、自転車の交通安全教室を実施し、期間を通して啓発にあたりました。

また、16日には安全協会や交通安全指導員協議会、交通安全母の会の会員ら約30人が、のいち駅前の交差点でドライバーサービスを行い、安全運転を呼びかけました。



いかだレース 結果

- 【親子の部】
 - 1位 山北子ども会
 - 2位 モンキー第1号
 - 3位 シェリー
- 【女性の部】
 - 1位 健診へ行こう!!
 - 2位 山北子ども会
 - 3位 こうなんガール
- 【一般の部】
 - 1位 海人
 - 2位 西川消防分団
 - 3位 東川山猿
 - 4位 ろうきん
 - 5位 山北子ども会 小松ファイティング号



初夏の海風に吹かれて...

第4回アカシアの花まつり



5月3日(木)～6日(日)夜須町ヤ・シィパークで「第4回アカシアの花まつり」が開催され、期間中約1万人が多彩なイベントを楽しみました。

道の駅やすの開業5周年と、公園内のアカシアの開花に合わせたこの催しは今年で4回目。5日は、地元ボランティア団体「岸本はたち会」による昔遊び体験の竹とんぼや竹馬、シャボン玉作りにたくさんの親子連れでにぎわいました。また、NPO法人「YASU海の駅クラブ」のヨット体験試乗では「初めて」という人が多く、約60人が楽しみました。

海に学び 海を楽しもう

第10回無人島長平まつり

5月13日(日)香我美町岸本出身の船乗り野村長平にちなみ「無人島長平まつり」が岸本海岸で開催されました。長平が12年の無人島生活から無事生還して200年目を記念して始められたこの祭りは、今年で10回目。

当日は母の日ということで、恒例の砂浜オリンピックではいかだに見立てたソリにお母さんを乗せ一生懸命引っ張る子どもの姿に、さかんに声援が送られました。メイン種目の手作りいかだレースには市内外から過去最多のチームが参戦し、目標の浮島などを目指して生還を競っていました。

悪戦苦闘する各チームの応援に、たくさんの観客が浜辺を埋め、ゴールしたチームを大きな歓声と拍手で迎えていました。

